

令和4年度試買テスト結果概要

①柔軟仕上げ剤（共同実施者：福井県消費生活研究会）

【対象品のキャッチフレーズ等】

No. 1	香り華やかに生まれ続ける	<香り>
No. 2	汗臭脂臭を根本消臭！	<消臭>
No. 3	ニオイを生まない衣類に変える	<消臭>
No. 4	選んだときから変わらず続く咲きたてアロマ製法	<香り>
No. 5	極上の香りとホテルタオルのような肌ざわり	<香り、肌ざわり>
No. 6	シワ・ヨレ・毛玉防ぐ！ 消臭力と香りが1週間続く	<シワ等の防止、消臭、香り>
No. 7	着色料無添加 大切な肌を優しく包み込む	<無添加>
No. 8	清潔消臭、気になるニオイに	<消臭>
No. 9	部屋干しにもおすすめ！	<香り>

【テスト項目】

- ①表示内容（業界団体の自主基準に基づく調査）
- ②単価（水量65Lで1回使用する場合の価格）
- ③柔軟仕上げ剤を適量（使用量の目安として表示されていた量）または3倍量で使用した場合のフェイスタオルの性質比較
 - ・タオルの表面拡大観察
 - ・香りの強さ
 - ・やわらかさ（たたんだ状態の高さ測定、手触りによる評価）
 - ・吸水性

【結果】

（表示）

No. 1～7の事業者（3社）は業界団体の正会員であり、自主基準に基づく表示をしていた。No. 8～9の事業者（1社）は業界団体の正会員・賛助会員ではなかったが、同基準に基づく表示をしていた。

また、同基準の必須項目ではない使用上の注意事項として、「認知症の方などの誤飲を防ぐため置き場所に注意する」、「高温や低温、直射日光を避けて保管する」旨の表示が全銘柄に共通していた。

（価格）

単価は7.2～38.4円で、5倍以上の価格差があった。単価が高い銘柄では概ね香りが強い傾向があった。

（拡大観察）

どの銘柄でも、柔軟仕上げ剤処理をすることで、フェイスタオルのパイル糸（ループ状の糸）が立ち上がっている様子が見られた。なお、柔軟仕上げ剤の使用量による差異はなかったため、多量に使用せず適量を守る事が重要である。

（香りの強さ）

適量よりも3倍量使用した場合の方が、また、静置した状態よりも振り動かした場合の方が評点が高かった。さらに、香りの良さや持続性を謳う銘柄では、適量でも香りが強かった。香りの感じ方や好みは個人差があるため、周囲への影響をふまえて、多量に使用せず適量を守る事が重要である。

（たたんだ状態の高さ測定によるやわらかさ評価、手触りによるやわらかさ評価）

3倍量よりも適量使用した場合の方が総じてかさ高くなることが分かった。柔軟仕上げ剤の使用量を増やすほど衣類等がやわらかくなるわけではないため、多量に使用せず適量を守る事が重要である。

なお、手触りによるやわらかさ評価においては、3倍量よりも適量使用した場合の方が概ね評点が高かったが、たたんだ状態の高さ測定結果との相関性はなかった。

（吸水性）

今回の調査では、9銘柄中6銘柄で、適量使用と3倍量使用との計測値の差異が僅かであり、柔軟仕上げ剤の使用量による吸水性の明確な変化は見られなかった。

【アドバイス】

今回の調査では、柔軟仕上げ剤を適量を超えて使用するとタオルのやわらかさが低下し、香りが強く残る傾向があった。

消費生活センターにも「柔軟仕上げ剤などの香りで頭痛や吐き気がする」との相談事例もあり、適量使用を守ることが重要である。

なお、業界団体（日本石鹼洗剤工業会）や事業者のウェブサイトでは、柔軟仕上げ剤の主成分である界面活性剤の分子構造により、多量使用を続けると吸水性が低下する旨を示している。

②キッチンペーパー（対象品：25 銘柄）

【対象品の特徴】

No.	不織布 or フェルトの表示	材質	形態	表示されている用途
1	あり	パルプ、ポリプロピレン	ロール	さまざまなシーンで使える（写真による表示）
2	あり	パルプのみ	ロール	煮込み料理、食材の水切り、揚げ物の油切り、生鮮品の鮮度保持
3	あり	表示なし	ロール	電子レンジでの調理、落とし蓋
12	あり	パルプのみ	ロール	揚げ物の油切り、落とし蓋やアクリル取り、食材の水切り、油こしやダシこし、食器などの汚れ拭き
16	あり	表示なし	ボックス	電子レンジでの調理、落とし蓋
17	あり	パルプ、レーヨン、ポリエチレン、ステンレス	ボックス	食材の水切り、落とし蓋、アクリル取り、ダシこし、油こし、蒸し料理、ドリップの吸収、揚げ物の油切り、生鮮品の鮮度保持
24	あり	パルプのみ	簡易包装（フィルム）	落とし蓋、油切り、汚れ拭きや掃除、蒸し物のふきん代わり、油・ダシこし、食材の水切り
4	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	シンクの拭き掃除、食器の拭き取り、揚げ物の油切り
5	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	揚げ物の油切り、食材の水切りや下ごしらえ、ふき取りや拭き掃除
6	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	食材の水気取り、揚げ物の敷き紙、水気や油の拭き取り
7	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	揚げ物の油切り、食材の水切り、食器などの汚れ落とし
8	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	食材の水切り・揚げ物の油切り、油や汚れの拭き取り、拭き掃除
9	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	揚げ物の油切り、食材の水切りや下ごしらえ、ふき取りや拭き掃除
10	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	食材の水切り、揚げ物の油切り、キッチン周りのお手入れや食器拭き
11	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	揚げ物の油切り、水切り、汚れ拭き、お掃除
13	なし（2枚重ね）	表示なし	ロール	表示なし
14	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ロール	食材の水気取り、簡易落とし蓋、アクリル取り、キッチンまわりの拭き取り
15	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ボックス	揚げ物の油切り、食材の水切りや下ごしらえ、ふき取りや拭き掃除
18	なし（2枚重ね）	パルプのみ	ボックス	食器や調理器具の汚れ拭き
19	なし（2枚重ね）	パルプのみ	簡易包装（フィルム）	表示なし
20	なし（2枚重ね）	パルプのみ	簡易包装（フィルム）	揚げ物の油切り、食材の水切り
21	なし（2枚重ね）	パルプのみ	簡易包装（フィルム）	揚げ物の油切り、コンロ等の拭き掃除
22	なし（2枚重ね）	パルプのみ	簡易包装（フィルム）	揚げ物の油切り、食材の水切りや下ごしらえ、ふき取りや拭き掃除
25	なし（2枚重ね）	パルプのみ	簡易包装（フィルム）	食器拭き、油拭きや油こし、水切り、キッチンまわりの水・汚れ落とし
23	なし（1枚）	パルプのみ	簡易包装（フィルム）	お手拭き、汚れ拭きや掃除

【テスト項目】

- ①表示内容
- ②単価（ペーパー1枚あたりの価格）
- ③吸水性および吸油性
- ④表面および断面構造の拡大観察
- ⑤厚み測定
- ⑥使用評価（取り出しやすさ、破れにくさ）

【結果】

（表示）

注意事項として、「水に溶けない（溶けにくい）ので流しやトイレに流さない（捨てない）」旨の表示が全銘柄に、また、電子レンジでの使用に関する表示が17銘柄にあった。電子レンジでの使用不可の銘柄もあったため、使用する前に表示をよく確認する必要がある。

材質については22銘柄に表示があり、このうち20銘柄はパルプのみを使用していた。残りの2銘柄はどちらも「洗って繰り返し数回使用できる」旨を謳っており、パルプの他にポリプロピレン等を使用して耐久性を高めているものと考えられた。

用途については、不織布またはフェルトの表示の有無で傾向が異なり、表示のある銘柄は「煮込み・蒸し料理、落とし蓋・アクリル取り、油こし・ダシこし」などの調理時の使用、表示のない銘柄は「食器やキッチン周りの拭き取り・拭き掃除」などの使用を多く謳っていた。

（単価）

1枚あたりの価格は0.6～8.5円で、14倍以上の差があった。不織布またはフェルトと表示のある銘柄は単価が高い傾向があった。

（吸水性および吸油性）

測定値の平均から算出した面積は、着色水の場合は49～632mm²、食用油の場合は25～326mm²で、いずれも12倍以上の差があった。不織布またはフェルトと表示のある銘柄は、水や油を少ない面積で吸収する傾向があった。同表示のない銘柄は、水の場合の算出面積が大きく、広がりやすい傾向があった。

（拡大観察、厚み測定）

不織布またはフェルトの表示の有無で構造が異なり、表示のある銘柄では表面の繊維に隙間があり断面が分厚かった。一方、表示のない銘柄は、表面に凹凸加工が施されており2枚重ね構造であるものが多かった。

（取り出しやすさ）

形態別に評点を見ると、ロールタイプは50～100点、ボックスタイプは42～79点、簡易包装（フィルム）タイプは46～92点であり、ボックスタイプは他の2タイプよりも評点がやや低かったが、有意な差異はなかった。

（破れにくさ）

評点は29～100点であり、2銘柄を除く23銘柄で83～100点と評点が高かった。今回の評価方法では、「洗って繰り返し数回使用できる」、「破れにくい」旨を謳っていない銘柄でも、破れにくい場合があることが分かった。

【アドバイス】

今回の調査では、不織布またはフェルトと表示のある銘柄は、「煮込み・蒸し料理、落とし蓋・アクリル取り、油こし・ダシこし」などの調理時の使用を謳うものが多く、テストの結果、1枚あたりの単価が高いものの、水や油を少ない面積で吸収する傾向があった。なお、1枚あたりの単価が特に高かった2銘柄は、いずれも「洗って繰り返し数回使用できる」旨を謳っているため、繰り返し数回使用することを想定すれば実質的な単価は低くなる。

また、不織布またはフェルトと表示のない銘柄は、1枚あたりが低価格で「食器やキッチン周りの拭き取り・拭き掃除」などの用途を謳うものが多く、テストの結果、水を吸収した場合に広がりやすい傾向があった。

表示を見て特徴を知ったうえで、用途や目的にあわせて商品を選択することが重要である。